

特集1

二十世紀の幕開けとなった今年も、はや十二月を迎えました。皆さんのこの一年はいかがでしたか。県政では、「ひのくに新世紀総体」をはじめ、「APEC」や「水銀国際会議」などが開催され、実り多い一年でした。

今年の県政は、こんな一年でした



一月

熊本ユニバーサルデザイン(UD)国際シンポジウムの開催

ユニバーサルデザイン(UD)を理解していただき、県全体の運動として取り組んでいくため、国内外から研究・実践者を招いたシンポジウムを開催しました。



二月

熊本県財政健全化計画の策定

「二十一世紀の熊本の礎を築く」という強い決意で、県財政の健全化に取り組んでいます。

IT(情報通信技術)講習会の開催



好評のIT講習会

高度情報化社会に向け、県民の九万三千人の受講を目標に、パソコンの基本操作からインターネットの初歩まで学べる講習会を来年三月まで行っています。

三月

熊本県環境基本指針・熊本県環境基本計画の改定

「環境立県くまもと」づくりのシナリオとなるもので、快適な環境を保全・創造するための理念、目標、取り組みの方向などを示しています。

熊本県森林・林業・木材産業基本計画の策定

豊かな森林との共生を実現するため、「森が守る」「森を活かす」「森と親しむ」の視点で施策方向を示した、今後十年間の森林・林業・木材産業の基本指針となります。

熊本県農業計画「チャレンジ21くまもと」の策定

環境変化に対応しつつ、農業の活性化を図るため、「ひとづくり」「ものづくり」「むらづくり」「共生関係づくり」の視点から、今後十年間の農業・農村の施策方向を示した農政の基本指針となります。

四月

ひのくに高等養護学校の開校

県内初の高等養護学校で、職業自立・社会自立を目指して、三十六人の第一期生が、園芸・工芸・クリーニング・窯業の専門学科で「働く力」を培っています。



ユニバーサルデザインの校舎

県農産物等販売情報拠点スタート



「くまもと村」オープニングセレモニー

東大阪市のスーパー「万代」渋川店に「くまもと村」をオープンし、県産の農産物などの販売・PRや情報の収集を行っています。また、十一月には東京のスーパー「マルエツ」西葛西店でも活動をスタートしました。

セーフガードの暫定的発動といぐさ産地の強化対策

豊表・ねぎ・生しいたけの輸入が急増し、セーフガードが暫定的に発動されました。特産の豊表については、優良品種「ひのみどり」の普及と県産豊表「ひのみどり」の生産拡大を柱に、国際競争力のあるいぐさ産地の再構築に取り組んでいます。



くまもと産品展覧会(仮称)

政策評価システムと県政に係る意見提出手続(パブリック・コメント)のスタート

県行政の成果を客観的に評価し、その結果を施策や事業の改善、見直しに反映させる政策評価システムと、県民生活に関係の深い計画や条例などを策定する際に、案の段階で県民の意見を求め、県政に反映させるパブリック・コメント制度がスタートしました。

九州新幹線鹿児島ルートが正式に決定

「博多く船小屋間」の新規着工と全線のフル規格化が正式に決定されました。「博多く新八代間」は今後概ね十二年後、「新八代く西鹿兒島間」は平成十五年末に完成予定です。

祝九州新幹線博多く船小屋間建設工事起工式



五月

熊本地方裁判所の判決確定、ハンセン病問題への取り組みが新たな展開に

ハンセン病を正しく理解し、偏見や差別をなくすため、ハンセン病療養所入所者の方への意向調査、その結果を踏まえた国への提案など、より一層の取り組みを進めています。



県庁で行われたパネル展

七月

児童虐待防止、DV(ドメスティック・バイオレンス)対策のネットワークの構築

相談体制を整備し、被害防止や早期発見・対応のために、教育、保健福祉、警察、医療、行政などの機関が連携して、積極的に取り組んでいます。